

## 函館駅前・西部地区花いっぱい業務に係るプロポーザル審査結果について

令和4年2月7日から3月10日の間に実施した審査委員会において、評価基準に基づき、審査を行った結果、次のとおり受託候補者を決定しました。

<b>企画提案者(1者)</b>	代表法人 構成員	株式会社 桔梗造園 特定非営利活動法人 スプリングボードユニティ21
<b>受託候補者</b>	代表法人 構成員	函館市石川町243番地 株式会社 桔梗造園 代表取締役 山本 久明  函館市富岡町1丁目5番11号 特定非営利活動法人 スプリングボードユニティ21 理事長 折谷 久美子

### 評価点

審査項目	配点	受託候補者
<b>企画提案に関する項目</b>		
「ガーデンシティ函館」の駅前・大門地区や西部地区のコンセプトに沿ったものか	20	12.00
春から秋にかけて絶え間なくボリュームを持った花を彩るデザインとなっているか	10	8.00
鮮やかな彩りの花による、華やかなデザインとなっているか	10	7.20
毎年変化していく花壇デザインとなっているか	10	7.20
夜の花壇を明るく彩る花のデザインとなっているか	10	7.20
実現性の高い業務内容となっているか	10	8.80
具体的な整備内容となっているか	10	8.00
<b>提案価格に関する項目</b>		
配点×(最低提案価格/各提案者の提案価格) 少数第一位を四捨五入する	10	10.00
<b>事業者に関する項目</b>		
事業を適切に実施できる体制を整えているか	10	9.60
<b>合計</b>	<b>100</b>	<b>78.00</b>

<b>審査委員会委員</b>	笠康 三郎 (有限会社 緑花計画 代表取締役)	
	中村 喜憲 (函館都心商店街振興組合 副理事長)	
	神林 眞里 (函館大谷短期大学 教授)	
	飯野 智子 (一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 総務ホスピタリティ委員長)	
	西山 凜太郎 (公立ほこだて未来大学大学院 博士(前期)課程2年)	

## 函館駅前・西部地区花いっぱい業務に係るプロポーザル審査結果通知

本審査委員会は、函館市が実施する函館駅前・西部地区花いっぱい業務の最も適した委託先を選定するため、厳正な審査を行った。

プロポーザルには、1者の応募があり、令和4年2月7日から3月10日に実施した審査委員会において、評価基準に基づき審査を実施し、受託候補者を選定したので、次のとおり通知する。

### 1 審査結果

- (1) 受託候補者：代表法人 株式会社 桔梗造園  
構 成 員 特定非営利活動法人 スプリングボードユニティ21

### 2 受託候補者の選定理由

函館市では、平成24年度～令和3年度にかけて函館の顔である駅前・大門地区において、市の施策である魅力ある景観・町並み・市街地の形成を目指し、函館駅前広場において彩り豊かな花壇の整備を実施してきたところであるが、令和4年度からの3年間は、これまで対象としてきた函館駅前広場に加え、新たに西部地区へつながるルートについても花で彩ることで、市民も観光客も、見て、歩いて、感じて楽しい、何度も訪れたい空間を創出するため、魅力的な花壇整備を実施するとしている。

このたび選定した受託候補者の提案については、函館駅前広場や西部地区の花壇整備イメージに沿ったデザインであり、実現性の高い業務内容となっていること、業務内容の理解度が高く、業務執行体制が優れていることなど、より具体性のある提案となっている点を評価した。

また、的確な業務実施の方向性が示されており、安定的な花壇維持管理が可能であるものと判断されると共に、受託候補者は、十分な類似事業の実施経験を有していることから、本提案の信頼性も高いものと評価した。

以上の評価については、審査委員会の採点においても、高得点が得られ、受託候補者に選定したものである。

事業実施に際しては、下記の点について発注者と十分協議の上、より魅力ある花壇となるよう努力されたい。

- ・ 今回のテーマである「五感で楽しむナチュラル花壇」のイメージが、見る人にもっと具体的に伝わるよう工夫を行うこと。
- ・ 毎年、デザインを新たに感じ、楽しみに訪れてもらえるよう、「五感で楽しむナチュラル花壇」が具体的に感じられるデザインの変化に努めること。
- ・ 駅前広場の周辺にある建物や西部地区にある建物（和洋折衷、ハイカラ）がもつ雰囲気を感じられるデザイン、高さや空間の広がりを感じられるデザインに改良すること。また、函館のイメージから離れてしまう農村風景的なアイテム（車輪等）は使用しない。

- メインの撮影スポットは、上記の改良やたくさんの花に囲まれる背景、やさしい曲線のベンチなど取り入れたデザインに改良すること。また、メインの撮影スポット以外でも、周囲の風景と併せてたくさんの花が背景に写るよう工夫を行うなど、魅力的なスポットを設けること。
- できるだけ多くの市民や観光客に、花壇や植栽されている草花の魅力を紹介できるように、看板やホームページだけでなく、QRコードやSNSなど活用して積極的な情報発信を行うこと。
- 沿道の店舗や住宅に少しでも花が増えていくよう、技術協力や資材の斡旋など、地域との協働に取り組み、より魅力的な空間の創出を目指すこと。
- 市民へのガーデニングの普及・啓発や市民との協働などの取り組みについて、開催することが難しい状況である場合は、オンラインによる企画を行うこと。